

ECU エラーチェックツール

商品コード：764-9001100

適合車種 | グロム (JC61/75)/ グロム HRC レースベース車 / モンキー 125 (JB02) / スーパーカブ C125 (JA48)

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意

- 道路運搬車輛法及び、道路交通法に従い、法定内での運転を心掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい
- 組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み付けミス及び、セッティング不良等によるエンジンその他関連パーツの破損、それに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず、整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 説明書に記載されていない改造や仕様変更等は絶対にしないで下さい。故障、破損の原因にもなります。また精密機械ですので、強い衝撃等を与えたり、分解したりしないで下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意下さい。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。

図記号	パーツ名	商品コード	個数	備考
-	ECU エラーチェックツール	764-9001100A	1	
-	ジャンパハーネス	764-9001100	1	※ HRC グロムは使用しません。

製品概要

診断コードの読み出しやスロットル開度センサーのリセットで行うカプラーの脱着作業を、ECU エラーチェックツールの ON/OFF スイッチで手軽に行えます。

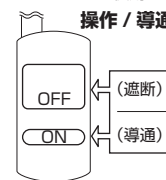
使用要領

▼ 保存されている DTC* の読み出し→消去	*DTC = 診断トラブルコード /Diagnostic Trouble Codes *DLC = Data Link Connector
1	メインスイッチを "OFF" にして下さい。
2	シートを取り外すと、シートレール右側 (バッテリー横) のサービスチェックコネクタからカバーを取り外し、ECU エラーチェックツール (サービスコネクタ) を接続して下さい。(エラーチェックツールは ON にしておく) [Fig.11 / Fig.12]
3	メインスイッチを "ON" にしてください。
4	ECU エラーチェックツールのスイッチを "OFF" (遮断) にして下さい。
5	PGM-FI 警告灯が点灯を開始してから、5 秒以内に ECU エラーチェックツールのスイッチを "ON" (導通) にして下さい。 [Fig.14]
6	PGM-FI 警告灯が消灯して点滅を開始した場合、保存された DTC は消去しています。 [完了パターン]
※	PGM-FI 警告灯が消灯した後に点灯状態になります。 [失効パターン]
▼ スロットル開度センサーのリセット	
GROM の場合 (HRC グロムは、スロットル開度センサーが無い為、この作業は必要ありません)	
※	ECU に DTC* が保存されていない状態で、この作業を行って下さい。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行ってください。(消去手順の詳細は上記参照) *DTC = 診断トラブルコード /Diagnostic Trouble Codes *DLC = Data Link Connector
1	メインスイッチを "OFF" にして下さい。
2	シートを取り外すと、シートレール右側 (バッテリー横) のサービスチェックコネクタからカバーを取り外し、ECU エラーチェックツール (サービスコネクタ) を接続して下さい。(エラーチェックツールは ON にしておく) [Fig.11 / Fig.12]
3	シリンダー左側の油温センサ (黒) コネクタを取り外し、ジャンパハーネスを接続して下さい。 [Fig.13]
4	メインスイッチを "ON" にしてください。
5	PGM-FI 警告灯が点滅を開始し、10 秒以内に ECU エラーチェックツールのスイッチを "OFF" (遮断) にして下さい。
6	PGM-FI 警告灯の点滅を確認して下さい。 [Fig.14] ジャンパハーネスの接続を外すと警告灯が点滅を開始します。 [リセット完了]
※	10 秒以内にジャンパハーネスを外さない場合、PGM-FI 警告灯は点灯したままの状態。 [リセット失敗]
7	メインスイッチを "OFF" にして下さい。
8	油温センサ (黒) コネクタを接続し、サービスチェックコネクタからサービスコネクタを取り外してください。

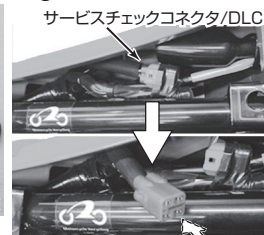
[Fig.11]



※HRCグロムは使用しません。



[Fig.12]



[Fig.11] ECUエラーチェックツール (サービスコネクタ) を接続

[Fig.13]



油温センサ (黒) コネクタ
黄 / 青 - 緑 / 橙

[Fig.14]



製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれに伴う故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。



〒577-0015 210402
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740